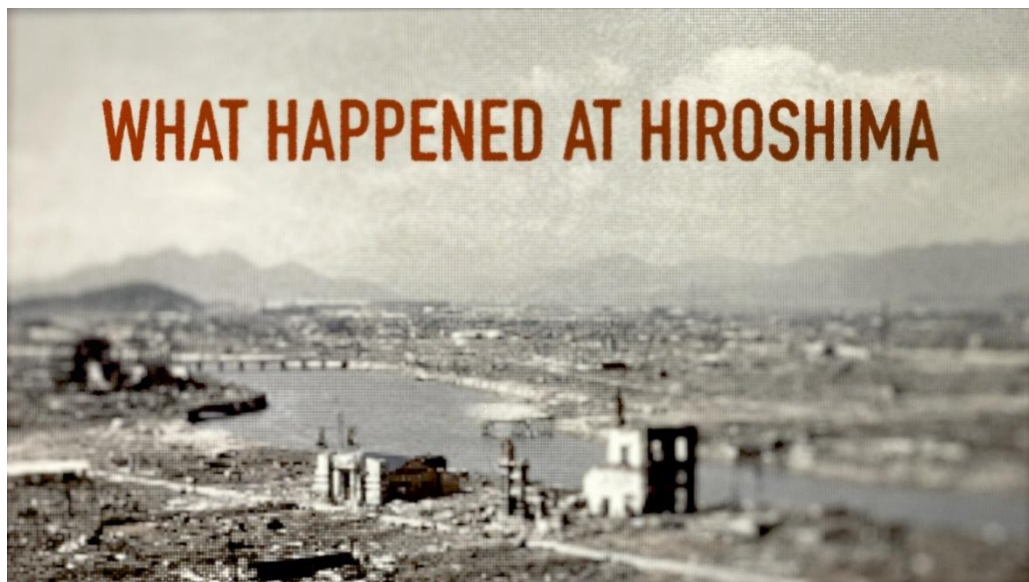


歴史の繰り返しを止めることはできるのか—その問いを投げかける
BBCワールドサービス 最新作『ヒロシマで何が起きたのか』
広島・長崎への原子爆弾投下から80年となる今年、
8月9日（土）にドキュメンタリー番組を放送

BBC Studios（以下、BBC）は、広島・長崎への原子爆弾投下から80年を迎える今年に合わせて制作されたドキュメンタリー番組『ヒロシマで何が起きたのか（What Happened at Hiroshima）』をBBC Newsチャンネルにて2025年8月9日（土）18:30より放送いたします（全30分／二カ国語放送）。受賞歴を持つBBCジャーナリスト、ジョーダン・ダンバーが「歴史の繰り返しを止めることはできるのか—その問いを投げかける」ことをテーマに、取材とナレーションを務め、被爆者たちの証言、そして戦後80年を経てもなお問われる「核兵器の本質とリーダーの責任」について深く掘り下げるドキュメンタリーとなります。



■“広島原爆”の記憶が問いかける、いま世界に必要な対話とは？

1945年8月6日、米国によって投下された原子爆弾により、広島は一瞬にして壊滅的な被害を受けました。番組では、その“運命の日”を生き延びたケイコさん（当時8歳）、ケンジさん（当時6歳）、ミキオさん（当時13歳）の証言を紹介。また、爆心地から離れていたにもかかわらず、放射線の影響を受けたサトシさん（当時1歳半）、そして3年後に広島で生まれたキョウコさんは、いま初めて“広島原爆”が自身に残した心の傷を家族に語ります。彼らが直面したのは、放射線への不安だけではなく、「差別、偏見、沈黙」。そして、自分たちの存在自体が「語ってはいけないもの」だったという事実です。

■現在の世界情勢と重なる“核の影”

冷戦後も続く核の脅威、そして現在の国際的な緊張の高まりの中で、ジョーダン・ダンバーは、被爆者たちが語る“過去と現在のつながり”に耳を傾けます。「核兵器の破壊力がどれほどのものか、いま世界の指導者たちは本当に理解し

報道関係者各位



2025年8月6日

BBC スタジオジャパン株式会社

ているのか。」という問い。そして番組は、“最後の体験者”がいなくなったその先に、私たちは何をもって記憶と教訓を継承していけるのか—その答えを視聴者に投げかけます。

【放送概要】

タイトル：「ヒロシマで何が起きたのか (What Happened at Hiroshima)」

放送チャンネル：BBC News チャンネル

放送時間：30分

出演/ナレーション：ジョーダン・ダンバー（BBCジャーナリスト）

放送時間：

8月9日（土）18:30～19:00

8月10日（日）12:30～13:00

8月11日（月）0:30～1:00、8:30～9:00

8月13日（水）12:30～13:00

8月14日（木）9:30～10:00

*二カ国語で放送されます。→ *日本国内向けには、日本語字幕が付きます。

*放送予定は、臨時ニュースなどにより予告なく変更する可能性があります。

BBC ニュースは、全国の衛星、ケーブルなどの有料多チャンネルサービス、また Hulu、Amazon Prime Video などのインターネット動画サービスのライブ配信で視聴できます。

詳しくはこちら <https://www.bbcworldnews-japan.com/watch/>